



ズバッと!

Q&A

シニアに心配な 頭痛・めまい



突然起こる頭痛は、脳の疾患に関係することがあるので注意が必要です。高齢者が注意した方がいい頭痛やめまいについて、甲府脳神経外科病院の渡辺新医師に聞きました。

わたなべ・あらたさん
日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中
学会専門医、日本頭痛学会専門医、産業医。

甲府脳神経外科病院
脳神経外科部長
渡辺 新さん



頭痛について教えてください。



頭痛は片頭痛や肩こりなどいわゆる「頭痛持ち」と言われる「一次性頭痛」と、くも膜下出血や脳出血などの病気が原因となる「二次性頭痛」があります。このうち二次性頭痛は生命に関わったり、後遺症が残ったりする可能性があるため注意が必要です。



二次性頭痛の症状は。



突然の頭痛、経験したことのないような痛みが特徴です。手足のしびれやまひ、言語障害、視力障害を伴うこともあります。このような症状が現れた場合は、脳神経外科を直ちに受診しましょう。



どんな人がなりやすいですか。



くも膜下出血は、動脈の一部の壁が薄くなってこぶのように膨らんだ動脈瘤が破裂して発症します。脳動脈瘤は約20人に1人程度が保有していると言われていて、家族に発症歴のある人は特に注意が必要です。一方、脳出血の原因は多くの場合、高血圧です。



くも膜下出血の治療法は。



開頭して脳動脈瘤の入口をクリップで止める手術と、カテーテルと呼ばれる細く長い管を血管に挿入して脳動脈瘤にコイルを詰める塞栓術があります。どちらを選択するかは年齢や動脈瘤の大きさ、場所などにより判断します。



めまいも心配です。



めまいの原因は一般的に①脳の疾患②内耳に問題がある③循環器の不調に分けられます。脳の疾患が原因となるめまいは、脳幹梗塞や小脳梗塞などの脳梗塞が疑われるため、MRIを行って診断を確定し、早期に治療を開始します。



日常生活で気を付けることは。



くも膜下出血は脳ドックを受けて脳動脈瘤を早期に発見し、適切な治療を受けましょう。脳梗塞は、危険因子となる高血圧や糖尿病、高脂血症の治療を行います。脳出血も予防のために、血圧のコントロールが大切です。健康的な食事や適度な運動を心掛け、夏は脱水、冬は急激な温度変化に注意しましょう。

次回は5月28日(水)に掲載します。

掲載日：2025年5月14日 / 紙面頁14

紙面・記事・写真・イラスト等の無断掲載・転用はお断りします。

Copyright 山梨日日新聞社